

深浦会東京だより

創刊第1号
深浦会 東京事務局
〒154 東京都世田谷区
上馬4-23-7
トボス.M.駒沢102
TEL 03-3418-0914
FAX 03-3422-0483

深浦会東京だより 発刊に寄せて

深浦会東京会長 黒滝 進 氏

願いつつ活動を続けていますが、この会報は、その前提となる会員相互の情報交換の場として、大きな意義をもつものといえます。充実した会報になりますよう重ねて会員各位のご理解とご協力をお願い致します。以上

このたび「深浦会東京」と会員みなさんとのコミュニケーションの手段として、会報を発行することになりました。年に二、三回のペースで発行の予定ですが、ここに創刊第一号をお届けできますことを、みなさんとともに喜びたいと思います。

会報を有効に活用し、会の運営がより実質的で、前進的なものになることを願わずにはいられません。産声をあげたばかりの会報です。会員各位の積極的なご協力と



黒滝 進 氏

また、会員各位のいろいろな声や動向をできるだけ多く紹介する一方、みなさんの側からも、例えば東京での同期会の案内、お知らせ等について、積極的に利用して頂くことも期待されます。併せて、深浦の動向や深浦の懐かしい人からのメッセージ等も掲載し、多岐にわたる紙面になればと考えております。

「深浦会東京」は結成以来、深浦と首都圏を結ぶ掛け橋になればと

第2回定期総会を終えて

盛り上がった交流会



深浦会東京総会・交流会

「ふるさと」を歌う会員一同

深浦会東京の第二回定期総会は、本年5月22日午後1時から東京・品川区の「きゅうりあん(品川区総合区民会館)で、会員など約四五〇名が出席し行なわれました。総会終了後は、会員の交流会を催し、ふるさとからの直送便「郷土料理」に干鼓を打ち、また、

楽しいアトラクションを見たり、それぞれに近況を語り合い楽しいひとときを過ごしました。

深浦町からは、町長や町議会議員・議員など役員関係者らと婦人会会長・会員が多数かけつけたださいました。

定期総会では、役員改選が行なわれ、次のように選任されました。(顧問) 平沢敬義、島川聖明、藤田周次郎、石崎高志、佐藤登、(会長) 黒滝進、(副会長) 野村初世、吉田文雄、山内隆逸、(幹事) 八木一、吉田嘉明、藤田重秋、飯田勉、小野秋夫、兼平幸四郎、佐藤完示、岩谷薫、松尾理沙、(監事) 上田穆、紀本満男、(地区別世話人) 柳野博栄(柳田)、北村充子(関)、五十嵐保(北金ヶ次、荒井孝子(若坂)、尾藤祥子(晴山)、日下部美智子(風合瀬)、黒滝茂則(追良瀬)、角谷敏昭(戸戸)、関根繁子(横磯)、野坂栄子(船作)、田中利通(松原)、(事務局) 松尾理沙、荒井孝子。

'94 深浦町との交流会

「白神山地とチャンチャン祭りの旅」

私達の生まれた深浦町で、恒例となりましたチャンチャンまつりが10月23日と24日の2日間にわたり開かれます。また、この時期は、今話題の白神山地の紅葉がすばらしいと聞いております。

深浦町との交流会も、昨年に引き続き第2回目となりますが、今年度は、ふるりの秋を満喫いただけるツアーを企画致しました。

お友達をおさそい合せのうえ、多数のご参加をお待ちしております。

出発日 10月21日(金) 先着45名様限定

21日	浜松町	20:30発(貸切バス)	(車中泊)
22日	深浦町	9:00頃着	白神山地—チャンチャンまつり—自由行動
23日	深浦町	22:00頃着	浜松町 解散

- 宿泊…22日は、各人で実家・親戚等にお泊り下さい。また、ホテル・旅館等を希望の方は、事務局までお問い合わせ下さい。
- 集合場所…集合時間も含めて、詳細、スケジュール等については、後日連絡いたします。
- 食事…21日 なし
22日 朝・昼・夕あり
23日 昼あり
- 料金…大人 ¥23,000- (食事代、旅行保険料込)
子供 ¥19,500- (〃、小学生以下)
- 募集人員…先着45名様限定 (参加資格は問いません)
- 申込先…〒154 東京都世田谷区上馬4-23-7
トボス.M.駒沢102
深浦会東京事務局
TEL 03 (3418) 0914 FAX 03 (3422) 0483
- 参加費用…10月11日までに下記にお振り込み下さい。
銀行名…三和銀行 五反田支店
口座名義…深浦会東京 上田あつし
口座番号…No.3666812

平成6年度活動方針は①図書寄贈活動の継続②深浦町広報誌者拡大活動の継続③ちびっこ交流会の開催④深浦町特産品の販売協力⑤会員と町民との第二交流会(深浦町)の開催⑥ふるさとへのアイデア提言活動⑦第三回定期総会の準備中。

チッコ交流会



チッコ交流会 (岡崎海岸にて)

われわれ、深浦会東京の会員が、生まれ育った「深浦」の素晴らしいを、子供達の目と肌を通してじかに体験してもらおうということで、深浦町と当会の共同企画で、第一回目のチッコ交流会が、7月23日から26日までの四日間わたって開催されました。

今回は、東京・埼玉・神奈川から、六歳からの幼稚園児から小学校六年生までの十二名のチッコ達が参加してくれました。東京駅を出発する時の不安げな顔も、新幹線Maxの発車とともにいつの間にか笑顔に。当会からは、会長をはじめ常時三名が引率。「深浦」では、平沢町長をはじめ町関係者の大歓迎を受け、町の企画課の人達が、考えてくれた盛りだくさんのイベントに楽しく参加していました。

「深浦」の子供達との交流会、ジャガイモ堀り、岡崎海岸での水泳、グラントゴルフ等を、親元を離れ一人で体験した四日間は、子供達を一回りも二回りも大きくしたように思えました。

子供と触れ合った大人達は4日間(準備から後片づけも含めて)いつも気を張って、いつも見守り、そして、抱え切れないほどの仕事分を気力だけで成し遂げたのかも知れない。とにかく、あれだけ盛り沢山の内容を人が人も病人も出すことなく終えられたこと、子供達全員が「楽しかった!」来年もまた来たい!と楽しく4日間を過ごしてくれたことで、関係者全員が「ホッ」と胸を撫で降ろしていることでしょう。

チッコ交流会に思う

七戸 智恵子 さん

社会人になって初めて、子供達の引率として、深浦を訪れた。母親の生まれ育った土地なので、いつもは、親戚の家を訪れるだけだった。今回、チッコ交流会にご一緒させていただいたお陰で今までと違う角度から深浦を見ることになりました。

子供達を通して触れ合うことの出来た沢山の人は、母や叔父・叔母のことはもちろん、私がかつたことない祖父のことまで知ったことのない祖父のことまで知ったことのない祖父の思い出いっぱい、岡崎海岸の思い出いっぱい、楽しい海水浴

本当に短くて、無我夢中で、あっという間に過ぎてしまったのですが、心の触れ合いということが一番大切な、そして最高の思い出になりました。「みなさん! チャンスがあらったら 来年会いましょう」



藤田周次郎先生の演奏



交流会から(あちこちで話の輪ができる)



交流会から(なつかしい顔々)



交流会から(郷土料理に舌鼓)

交流会に参加して 感動のなかで 再会を約束!!

「ワームズラシナー」「どうし
てらばあ」など津軽弁の大合唱。
平成4年5月30日「深浦会東京」
発足設立総会が開催されました。
数十年前に会う懐かしい友、知
人の顔、顔、互いに肩をたたき
手を握り抱き合う人の姿があら
こちらで見られ「ここが本
当に東京」かと錯覚するほど会場
内はそんな四五〇人の熱気で溢れ
ており感動のなかで再会を約束し
大盛況で幕が閉まりました。この日
を迎えるまでには首都圏に住んで
いる役員の皆様は大変なご苦労だ
ったと思います。平成2年から二
年がかりでの名簿作成と案内書の
発送、そして交流会直前までの準
備にと走り回り、また当日は役員

のお奥さん方も手伝いに駆けつ
けて交流会を盛り立てて下さいま
した。
皆様のふるさとへの熱い思いが
輝きと感ぜられました。私たちも
ネプタ踊普及会から踊と準備のお
手伝いでこの交流会へ参加させて
戴きました。
深浦町文化財指定のネプタとネ
プタ囃子、子供の頃からネプタの
囃子を聞いて育ったものにとって
8月のネプタ時期になると血が騒
ぎ、心揺さぶられることではし
ょう。

祭りの音曲に負けじと打ち込む
大太鼓。その撥さばきと音曲の魅
力にとりつかれ、何とか音曲に合
せて踊りをと...藤間綾鶴先生に
ネプタ踊普及会会長
大高悦子さん

依頼し、現代風にアレンジ、創作
をして戴きました。平成元年つい
にネプタ踊普及会を設立するに至
り、夢を現実のものとする事が
できました。まだまだ未熟ですが
貴重な伝統文化のネプタ囃子を盛
りあげていくよう会員一丸となっ
て活動する所存でございます。
同時に皆様のふるさとでもある
自然環境に、恵まれた。風光明媚
な深浦。これらを地域住民として
守り子孫に伝承できるように微力
であります。私たちが協力したい
と思っております。そして皆様の心の中
にある美しい深浦。伝統のある深
浦を守り続けていきます。

21世紀は環境保全と食糧自給の
時代になると言われています。か
ら、やがて深浦町も日本中の注
目を集める日が来ようかと思いま
す。それまでは過疎に悩む故郷
と、過密に悩む都会の皆様と心
を合わせて交流し、力を合わせて支
援しあっていくことが大切な課題
だと考えております。
その意味でこの春、東京から贈
って頂きました驚くほど沢山の図
書は素晴らしい第一歩であったと
思います。この夏、東京から「チ
ッコ交流隊」13名が来てくださ
ったことは素晴らしい第二歩でし
た。
故郷の世界に誇る自然と新鮮な

事務局から一す

- 事務局が7月より下記へ移転しました。
〒154 東京都世田谷区上馬4-23-7
トポス.M.駒沢102
TEL 03-3418-0914
FAX 03-3422-0483
- 「広報ふかうら」定期購読のご案内
ふるさと深浦町の近況が良く分かる町の広報紙です。
ご希望の方は、事務局までTELまたはFAXにてお申し込み下さい。
購読料は年間2,000円となっております。
- 年会費を納入されていない方々へお願い
平成6年度分の年会費1,000円/年をまだ納めていない方は、下記にお振
り込み下さるようお願い致します。なお、来年度からは「郵便振替」の
口座を開設予定です。
三和銀行 五反田支店
深浦会東京 上田あつし
口座番号 No.3666812
- 「広報ふかうら」へ投稿ができます。
当会では、深浦町で毎月発行しております「広報ふかうら」へ、会員の
皆さんの意見・感想等の投稿をさせて頂いております。
投稿をご希望される方は、事務局までご郵送下さい。
内 容...特に問いません。
活字数...800字~1,000字位
写 真...1枚



ねぶた祭

私も深浦を離れて、はや一四年
が過ぎてしまいました。
初めは専門学校を卒業したら青
森に帰るつもりでした。「東京は
遊びにくる所で住む所ではない」
と中学の修学旅行でそう感じたの
ですが、東京に来て3ヶ月を過ぎ
た頃にはすっかり新宿歌舞伎町の
ネオンが恋しくなり現在に至っ
ているわけです。
そんな私も今年の秋に東京出身
の人と結婚することになり、本当
の東京人になります。今までのよ
うに気軽に故郷に帰ることは出来
なくなると思っています。ですから東
京での集まりにはぜひ参加して
「ふるさと」を味わいたいです。
佐藤咲子さん(浜町出身)



交流会に参加して 「ふるさと」を味わう

● 貴重な深浦の伝統文化「ネプタ囃」を盛り上げよう

母校昨今

深浦中学校長 山田 邦 照 氏

今年の全国中学校体育大会の
陸上で、一、五〇〇Mで全国六
位の快挙がありました。(県新
記録の樹立もなしとけていま
ポーツに打ち込んでおります。
時は流れても、深中の生徒の
良さは変わらず、恵まれた教育環
境のもとに、生徒は勉学にス
ポーツに打ち込んでおります。
昨年秋より西北五の各校に先
がけて、長髪化に踏み切りまし
た。ちょっと都会っぽくなった
深中生の姿が見受けられます。
四季折々の深浦の眺望、人情
味豊かな風土にいだかれて、生
徒は日々中学校生活を過ごして
おります。
あわただしい生活の中で、ふ
るさと深浦。母校深浦中学校を
なつかしく思い出されること
あるかもしれません。
どうぞ、帰郷の際には、お気
軽に母校にお立ち寄り下さい。
母校の最近の様子をお知らせ致
しました。

町民からの挨拶 本間和夫氏

深浦会東京の皆様へ

深浦会東京の皆様いかがお過
しでしょうか。今年の夏は殊のほ
か暑く、遠く故郷を離れて世界一
人口過密の東京に暮らし世界一の
経済力を支え働いておられる方々
のことを思いますと、ただただ頭
が下がる思いです。
故郷は豊かな自然に恵まれ、世
界遺産の白神山地をはじめ山あり
海あり「みんな帰っておいでよ」
と言いたいのですが...。第一次
産業は低迷し中でも農林業は産業
として成り立ちにくくなって過疎
化に悩んでいます。
食料、そして特産品は最高です。
どうぞご利用下さい。
ただし、豊かで美しい自然を保
全すること、おいしく安全な食
料を生産するにはコストがかかる
のです。安さだけを追求する都市
経済が農村・漁村を荒廃させてい
る元凶でもあることを理解して欲
しいのです。いな、理解し合える
ような交流を積み重ね、豊かに支
援し合える日の来ますことを夢に
みています。深浦会東京の発展
と、皆様のご活躍を心からお祈り
申し上げます。

会員だより

忘れられない故郷

故里を上野駅で感じた時代はい
つの間にか消えつつあるこの頃、
気がつくとも三十九年あちこち旅を
してやっと川崎におちついたけれ
ど、いつになく思い出出すのが、思
いっきり遊び回った田舎です。年
をとればとるほどなつかしさが増
してきます。孫供にはおじいちゃ
んの田舎はと聞かれ、話してきか
せながらそのうちにつれていき
と考えてます。田舎には何の貢献
も出来ない私が故郷です。
小島義之氏(関出身)